

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報編集委員長 田中 如以
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2017-18年度RIテーマ
 会長 イアンHS.ライズリー



承認 1995.3.28
 会長 田島 陽介
 幹事 武山 卓史
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1
 名古屋クレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinari1@fancy.ocn.ne.jp

田島陽介会長 年度目標 : より強いクラブへ!

第1051回 例会 No. 9 平成29年9月21日(木)	
ガバナー公式訪問 名古屋みなとRC合同例会	
■ロータリーソング	「君が代」「それでこそロータリー」
■出席報告	会員45名中32名出席
■出席率	76.19% 出席計算人数42名
■修正出席率	9月7日 95.35%
■ゲスト	ガバナー 神野重行 様 地区幹事 加藤定伸 様

会長挨拶 田島陽介

こんにちは。
 神野ガバナー、加藤地区幹事、本日は名古屋みなとロータリークラブ、名古屋丸の内ロータリークラブの合同例会にお越しくださり、ありがとうございます。心より歓迎申し上げます。
 今年度、神野ガバナーからの2760地区85クラブ会長への一番の要請は、「毎回の5分間の会長挨拶に命を懸けよ」でございます。
 そんなガバナーの前で挨拶をさせていただく機会に恵まれたことに、感謝します。



私事ですが、先月の夏休みに妻と娘と三人で中国の上海へ出かけてきました。その折、昨年オープンした上海ディズニーランドを訪れました。
 本日は、そのディズニーランドで驚いたことを3つを紹介させていただきます。
 一つは入場料で約8500円でした。7400円の東京より高額です。レストランで食べたチキンとポテトドリンクのセットが1300円でした。一人当たりのGDPは

日本の5分の1の国なので、価格の高さに驚きました。
 2つ目は、レストランでのマナーです。セルフ方式なのに誰もテーブルを片付けません。床はゴミだらけ、皆、平気で捨てます。そして、食べ終わっても席を譲りません。子供を寝かせている人も多く占領し続けていました。
 3つ目は、あるショーを見た時、一部始終をスマホで動画撮影している人が大勢いたことです。隠し撮りではなく堂々と撮影していました。スタッフも注意していませんでした。著作権に対する価値観の違いが少しわかりました。
 実際に行かされると、他にも多くの気づきがあります。街中を観光しているだけでは分からない文化の違いを実感できます。皆様も、機会がありましたらお出かけください。
 ありがとうございました。

ニコBOX

ガバナー 神野重行 様

ガバナー公式訪問に参りました。

●本日はガバナー公式訪問です。
 ガバナー 神野重行様、地区幹事 加藤定伸様、ようこそお越し下さいました。会員一同、心より歓迎申し上げます。また、名古屋みなとロータリークラブの皆様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

田島会長、武山幹事、藤田、古川、小原、矢野、岩田、宮崎、安江、加藤、川原、堀江、河原、亀井、山崎、田中、水野、恵利、西川、松尾、後藤、成田、長谷川、大橋、高山、立石、森田、有沢、上野 (敬称略)

本日合計 69,000円

幹事報告

武山卓史

皆様こんにちは。
 今期は幹事報告に命を懸けております。
 まずは、名古屋市教育員会主催のなごやっこ読書月間ということで、ナディアパークで開催されるイベントの協賛依頼を受け、理事会の承認を得ました。
 一口3万円の協賛ですが、クラブ名とロータリーマークも入れてもらいました。10月21日土曜日に、読み聞かせなど本に親しむイベントをやっておりますので、会員の方もどうぞお越しください。



続きまして行事報告。9月10日に親睦の家族旅行会を行いました。

南知多ビーチランドで地引網漁を、写真にあります、皆で頑張ってお楽しみしてきました。

これだけ沢山魚が獲れ、その後バーベキューで飲みすぎてトドが獲れました。このように楽しく日帰りでバス一台で行ってまいりました。

そしてもう一つ9月14日に、クラブ米山奨学委員長会議と学友会の総会に行ってきました。田島会長、地区の米山奨学委員である磯部さん、そして、当クラブの米山奨学生のホアン ティ トウイさんと楽しくキャッスルプラザで過ごしてまいりました。



今後の予定です。10月5日は通常の例会となっております。そして月初めですので理事会があります。

次の12日が祝日を挟みますので休会となります。

そして10月19日は恒例の秋の家族会ということで、歌舞伎鑑賞を行います。ちょっと飛びますが、11月の9日夜間例会として名古屋ブルーノートで、岡本真夜さんのピアノのライブ鑑賞です。真ん中の席を30席ほど用意しております、みなとRCの方も是非お越しください。通常の入場料よりも優待で押えておりますのでよろしくお願いいたします。

そして12月にはクリスマス例会をこちらクレストンホテルで行います。

後は地区大会が11月18・19日にウエスティンナゴヤキャッスルでございますので、出席義務者の方、特に大会2日目の19日に池上彰氏の記念講演がございますので、出席をよろしくお願いいたします。幹事報告は以上です。



卓 話

「ガバナー講話」

ガバナー 神野重行

こんにちは。只今ご紹介いただきました、本年度この地区のガバナーを仰せつかっております神野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

クレストンホテル自慢のお料理をゆっくりお召し上がりながら少しお耳だけ拝借したいと思っております。先ほど田島会長から、私の業務命令で、今年度は各会長が会長挨拶に命を懸けるという話を聞いたと言われるのですが、それは全く違っておりまして、会長挨拶に命を懸けるぐらいの気持ちでのぞんで頂きたいというお願いです。決してガバナーは、業務命令を発する皆様方のお立場、会社で言いますと、会長さんや社長さんとは違いますので、あくまでご協力をお願いでございます。でも、そのお蔭で今の田島会長の様な素晴らしい会長挨拶、これを私も伺うことが出来まして、今日はこちらへお邪魔して良かったなあ、と思っております。

パワーポイントをご覧になっていただけたと思いますが、これを使いながら話をいたします私の顔を見るよりPPの方を見て頂いたほうがいいかと思えます。冒頭からこんな妙な写真が出てまいりました。これは私は決して色白ではないんですが、白くま君というあだ名があちこちで付けられております。

その理由は寒さにめっぽう強いから。今までコートを着たことがないんです。

金沢でロータリークラブに初めて入らせていただいたのですが、その折にロータリーの友、先ほどお話もございましたが、この7月号で、皆様も必ずお手元にあると思いますが読んで頂いてる方は少ないかなと思えます。発行部数は日本では今9万部くらいなのですが、世界では色んな国で123万部。最大の月刊誌であります。その中に、ガバナー紹介というページがございます。



この私の紹介タイトルが、何と、「紳士は白くま？牛？」。これは私に相談もなしに決まっていたので、びっくりしました。他のガバナーはとってもいいタイトルなんです。ちょっとここで読んでみますと、「行動力溢れるガバナー」「誠実で信頼できる人」「明るく粘り強い人」「子どもが大好きなガバナー」「未来へチャレンジ」「考えを行動に移しましょう」「we are one」「フレンドリー

なガバナー」こういう中で、私一人このタイトルでありました。なんじゃ！と思ったんですが、同期からも冷やかされました。タイトルはロータリーの友の前の編集長、6月に定年でお辞めになりました方がお付けになる権利があるそうであります。その方が金沢に来られた時に私は「金沢なんて全然寒くないよ。コートも着たことが無いし」と言ったら、「白くまみたいな人ね」という話がありました。それを覚えておられて、こう書いたらしいです。「ごめんなさいね～、でもいいでしょ～」と言う一言で済まされました。そんな私でございますが、白くまはもの凄く凶暴な動物だそうですが、私はご覧になって頂いたとおり、優しいホントに各会長の皆さんにも決して業務命令を出すようなガバナーではございません。



もしお時間がありましたらまた、ロータリーの友7月号を反芻して頂ければと思います。

こんな話はともかく、今日は、丸の内ロータリークラブのホストで、親クラブであります名古屋みなとロータリークラブとの合同例会に参加をさせていただきました。先ほど1時間半くらい、会長幹事懇談会を行いまして両クラブの色々な課題について、或は会長幹事からのご質問についてお話をさせていただきました。そういうことで十分私も理解をさせて頂いたと思っております。

それぞれのクラブの状況につきましては、もうすでにクラブ訪問して頂きました宮崎ガバナー補佐からお話をしていると思っておりますし、両クラブのそれぞれのクラブ計画書、これは皆さん方ちゃんと読んで頂いてますか？自分のクラブの計画書をもう一度またしっかりお読みいただいて、この年度のクラブ計画を実行していただきたいと思っております。

さらにウィークリーレポート。これも事務局の方に無理を申し上げて送っていただきまして、読ませていただきました。こんなことで、私も両クラブの理解をある程度させて頂きました。名古屋みなとロータリークラブはもう52歳。一昨年の50周年式典は船上の大変なパーティーでございました。お呼びいただいてありがとうございます。

それから子クラブであります今日のホストクラブ、名古屋丸の内ロータリークラブももう23歳。立派な成人を迎えられました。

それぞれ両クラブとも地域に、まさに地道であります。密着した奉仕活動、これを進めていただいております。こんなことも、私も拝見をいたしまして、お話を伺いまして、大変感謝を申し上げます。

さらに、この両クラブからは私ども地区に対しても、大勢出向してご活躍いただきご協力をいただいております。

すことを、高い所からではございますが、御礼を申し上げます。ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

今進めて頂いております奉仕活動、そして今新たにこれから考えておられる奉仕活動、社会奉仕、青少年奉仕、こういう事に今後ぜひクラブ戦略委員会をお使いいただき、クラブ点検、奉仕活動点検をして、これからどんどん有意義な物にしていただきますようお願いを申し上げます。

さて今年の国際ロータリーの会長はイアン ライズリーさんです。彼は、私と同じ年で70歳です。



公式ユニフォームというのはこのジャケットですが、ただ、イアンライズリー会長を紹介するにはこの衣装の方がいいかなあと思って、クラブ計画書などとは違う写真を使わせていただきました。

これは1月の国際協議会、ガバナーエレクトの最後の研修会で、カジュアルデーに彼が提案して作り、私どもが150ドル

で買わせていただいて着たシャツです。

皆の話ですが、これ150ドル？日本だと50ドルくらいで十分じゃないのかなあ、という印象ですがその差額は貢献であります。しかし、やはり50ドルくらいと言うだけあって、生地が薄い。この方（イアンライズリー）は平気です。私も白くまですからこれで平気でしたが、我が国から行きました同期34名のうち殆どは、これ1枚ではとても寒いと言うことで、セーターを着る、ジャケットを羽織りましたが、それでも数人は風邪を引きました。そういう元気なイアンライズリーさんの写真がこれです。

こんな写真の説明はさておいて、今年度のテーマ。これはクラブ計画書にもしっかり出して頂いてますし、先ほどのロータリーの友そしてガバナー月信などにも載せて頂いております。

「Rotary making difference」ロータリーに変化をもたらす、であります。

これも、お読み頂いたと思っておりますが、ちょっとまとめてみました。

ロータリーは、自らの職業の倫理性を高め、そして世界で良いことをしよう、と言う理念を変えることはありません。ただ、その行動は、時代とともに変化をさせてきております。今この時代だからこそ我々ロータリーは、目的と理念を大切に守りつつ、世の中で良いことをしよう、と自分たちの奉仕活動を周りの方々に、伝播していくことが必要だろうと思っております。

でもそのためには、まず私ども自らが行動することによって、ロータリー活動の意義、そして楽しさ、これを感じる事が大切です。それによって私たちは自らを変え

そして周りを変えていく力、こういうものになるでしょう。こう言っているわけです。

さらに、世の中に良い事をしよう、それを自分の務めと信じる人が集まる団体がロータリーだ。地域社会と世界に変化を生み出したい、とそういう願いをロータリーというものに入って実現出来るというようになった人、それが集まった組織、これがロータリーじゃないのか。

だからロータリーとは、どのような団体ですか？と聞かれるのではなく、何をしている団体ですか？という風に定義されたい。これがイアン ライズリーの思いであります。奉仕と言う行動を通じて、自分自身を含めて人々の人生に変化をもたらそう。これが今年度のイアン ライズリー会長のRI 会長テーマと言う風にしたわけがあります。

会長テーマについては、もう皆さんにはこれ以上申し上げるつもりはありません。

後は、私がこのイアン ライズリーの考え、テーマを聞いて、そしてどう思ったかという私の思い、そしてそれを地区の中で、どういう風にしていきたいかということについてお話をしたいと思っています。

RI 会長テーマ、これは今申し上げた通りで、1月のサンディエゴ、国際協議会でお話を聞いた訳であります。その時私はイアン ライズリー、彼はこの大変革の時代のRI 会長、我々のリーダーに相応しい人だなあという感じを持ちました。

その理由の第一番、ロータリーとして初めて地球環境問題に対しての行動を具体的に提案した事。

2番目は我々の行動によって周りをも変えていこうという考え方、これをはっきり打ち出したこと。そして3番目、ロータリーの未来に向けての課題、問題点、この2つを明確に打ち出した、指摘した事、であります。

1番目の地球環境問題について、これは国際ロータリーとしては、今までも規定審議会などで、植樹の奨励、植樹を進める事についての決定などを行っているわけですが、RI 会長として、テーマ講演の中でこれをはっきり打ち出したというのは、彼が初めてであります。皆様ご存知のように、日本は3分の2が山林であります。

そんな国でも東日本大震災の被災地ではまだまだ木を植える植樹活動、これが必要だと言うことを言われております。

世界を見渡して見ますと、砂漠化が進んで、水資源その物も危ない。さらに、海面が上昇してきて自分たちが住む場所、島がだんだん沈みかけてる。さらには、地球規模で大気汚染問題、こんな事が起こっているわけがあります。イアン ライズリーは、そうした私共の危機をしっかりと見てみると、一番弱い立場にある人に真っ先に影響を及ぼす。なので、何とか我々も地球の環境、生活環境の改善保全に、頑張らなきゃいけない、こういうことを打ち出したわけがあります。

それを考えてみますと、植樹と言うのは、未来に向けて我々が地球上に住む人類のみならず、全ての生き物にとって、分け隔てなく出来る一番の良いことじゃないのか、という風に思う次第であります。

この両クラブの皆様は、もうすでに地区の活動、これも

含めて今のアースデイまでの植樹について、ご検討を進めて頂いておりますことを感謝申し上げます。

2番目の課題であります、我々の行動によって、周りをも変えていこうと言うイアン ライズリーの言葉。

これは、私は職業奉仕と言う私共のロータリーの原点、この再認識という風にも捉える事が出来ると思えました。すなわちロータリアンは、自分たちが自らの職業、立場、これを通じて世界で良いことをしよう、ということに励んでいる人間であります。

ですから、我々周りの人々に私共のロータリーの活動、これを理解してもらい共感してもらえれば、その良いことの幅ももっと広く深くなる。これをイアン ライズリーは、もう一度認識しましょうと、呼びかけた訳であります。

ただその前に、先ほども申し上げましたように、私たち自身がロータリーの奉仕活動、これを通じて、その自分たちの行動、これに喜びや感動を強く大きく感じるという事が大前提の話でございます。

3番目にイアン ライズリーが言いました課題。男女の比率、平均年齢であります。

これを彼は、将来に向けて私共ロータリーにとっても大切な課題だ、という言い方で問題提起をいたしました。今までもこの話はずっと出てはいたわけですが、彼はこのロータリーの未来を見据えた問題に対して、これからのロータリーを担っていくメンバーに、それぞれの立場で真剣に考えて欲しい。要は今までのロータリーでなく、これからのロータリーを担っていく人たちに、真剣に考えて欲しいと訴えた。そこに私も共感を覚えた訳であります。

昨年のRI 理事会で、ご存知のように規定審議会にてクラブの裁量権が大幅に拡大をいたしました。

それを聞きまして、私は、今年度ぜひ各クラブに将来を見据えたクラブ戦略委員会、名前はどんな委員会でもいいんですが、将来を見据えた、それぞれのクラブの課題について考えて頂く委員会、これをお作りいただきたい。と、こういうお願いをいたしました。

これも業務命令ではございません。お願いであります。すでに、両クラブとも、その設置、そして具体的にどんなことから始めようかと言う検討を進めて頂いているということでもあります。

大変感謝申し上げます次第でございます。

ぜひそれこそ、クラブを見据えた委員会でもって、自分たちのクラブのまずは組織的点検、そして今やっている奉仕活動の点検。さらにこれからどういうことをやって行きたいか、と言う話を議論していただきたい。現在の理事会とは違う形で、将来に向けて議論していただくメンバーをお作りいただきたい、こういうお願いをさせて頂いております。

それはそれとして、一つ目の会員の男女比率の問題であります。ご存知のように、ロータリーはアメリカで生まれ育ち112年ですが、そのうち、何と1989年、今から28年前まで、男しか入れない団体でした。

訴訟問題など色々ありましたが、1989年に女性会員が初めて登場したわけがあります。そういうロータリーです

から、イアン ライズリーはフィフティフィフティと言われましたが、私としてはそれはちょっとまだ無理だなあ、と思います。

私は、これは基本的に各クラブの裁量権、自由裁量で決めて頂く事柄だと思っております。

両クラブとも女性会員はおられますが、それぞれ今後については今申し上げました、クラブ戦略委員会で十分ご検討いただきたい。

ちょっとだけ実態をお話いたしますと、我が愛知、現在女性会員比率は4.6%でございます。

そして世界を見ますと、私が先ほど言いましたサンディエゴで、同期ガバナー530名ほどが集まりましたが、そのうち2割は、女性です。ですから、現在ガバナーの2割は女性。世界全体で見ますと、女性会員比率は21.5%という数字になっています。

日本では、東京13.5、神奈川、福岡、大阪、兵庫、大体大都市圏と言われる所は、12%程であります。

全体平均で見ますとちょっと下がりますが6%。となりますと、愛知の数字はちょっと低いなあ、という感じがです。世の中、法律を含めて理由なしに男女の区別をすることは出来ません。さらに、大相撲はともかくとして、殆どの分野でやはり女性は活躍されている。これは、認めざるをえないわけであります。

ぜひ皆様方もクラブ戦略委員会をそういう点でもお使いいただければと、思っているわけです。

議論は色々ありますが、今、ロータリーというのは世の中で良い評価を受けている方で、私共の仲間に入って世界で良いことをしたいという気持ちをお持ちの方は、勿論クラブの皆様のご理解があつてのことですが、ロータリーの仲間として、仕事がどのようじゃなくて、仲間としてお迎えすることができる団体になっております。もう一つの課題、メンバーの平均年齢の問題ですが、世界でも、40歳未満会員はなんと5%いないそうです。日本のロータリーも特にこれは、大切だけれども難しい問題だという気がしています。

若い方を引き込みもうといたしますと、日本のロータリーはまず、90%は毎週例会、そしてこれが平日です。土曜日曜日祝日には例会がない。

そしてさらに、入会金や協力金が高い。会費が結構高い。こういうことが若い方にとって、どうかなあ、という感じがします。

この点も、将来に向けて皆さんが色々、ご検討いただくということになるかなあと思っております。

我が国に限らず、先進国の多くは、数多のボランティア団体、それぞれの目的を持って奉仕活動を進めておられます。

その中で、今申し上げました112年の歴史を誇る私共ロータリー。これは、財源の透明性、こういうようなものもどんどん高めてきて、今や世界で一番高い評価をいただける、ボランティア団体になることができました。ただ、しっかり見てみますと世間様からの認知度、これはまだまだ低いです。そして私共の実際やっております活動に対する理解も、今いちだと私は思っています。

私はガバナーに就任いたしまして、愛知県知事や名古屋

市長にご挨拶をさせて頂きましたが、その他にテレビ・ラジオ・マスコミ・新聞などのトップにもご挨拶に伺いました。私共のロータリーがやっていること、そして私共の考えていること、こんなものを説明して理解をいただき、また、協力をいただきたいと言うお願いをしてみました。

その幾つかはお取り上げいただき、それを見て頂いた方から、神野さん、ロータリーって良いことしてるんだね、と言っていた。これは嬉しかったです。

ただ挨拶だけではダメです。これからこの地区も、公共イメージ向上委員会が皆さんと一緒にこういう活動をどんどん世に広めてく、そういう意味で皆様方の奉仕活動を私共地区にも挙げていただいて、今度この日にこんなことをやる、さっき幹事からの幹事報告でお話ございましたように、やって行くことをどんどん外に広めていきたい。その点について、ご協力をまたよろしくお願い申し上げます。

そういう事で、周りの方たちと一緒にやって行けば我々の活動の理解もしていただき、もっと大きな奉仕活動、これが出来るんじゃないのかと。

地区といたしましても11月19日には、愛知県知事とロータリー、この地区として防災協定というのを締結する、という準備をしております。積極的にやって行こうと思っております。

地区方針は、「今日からのロータリーを楽しむ」。これは昨日までのロータリーが楽しくないということではありません。先ほど述べましたようにロータリアンというのは、たえず自分たちの交流友好を持って日々研鑽に励んでいる人、その集まりのクラブ。これも、もっと高いロータリーブランドを目指して行きたい。その追及が私たち会員の楽しみでなければ、これは出来ないよ、ということでもあります。ですから自分もこの活動を楽しんでいこう。10年20年、これはビジョンなんです、10年20年という、私は関係なくなると言う方がみえます。私も危うい。それよりも3年5年先くらいを見て、やっぱり自分たちのクラブがどういう風にしていきたいか、輝いていくにはどういう風にしたらいいか、ということ議論していただきたいと思います。これを私の今年度のお願いとしております。

行動指針につきましては、もうすでにクラブ計画書にも入れていただき、今申し上げた事と重なっております。ガバナー補佐の皆さんに、各クラブに4回訪問してくださいと依頼しましたが、ガバナー補佐お一人ではとても年度内には無理な回数になりますから、チームで4回お顔を出して色々お話してください。と、お願いしました。皆様方も嫌がらずに優しくお迎えして、色々なお話を聞いていただきたいと思っております。

WFFも、もう間もなくであと一か月を切りました。10月14・15日です。

加藤陽一委員長は晴れ男だそうで、大会実行委員長に任命させていただいております。みなとロータリーは14日でしたか、例会をやっていただきますし、両クラブとも会員数の倍から3倍くらいのチケットをご協力いただいております。ありがとうございます。ぜひ皆様方お揃

いでお出かけください。

大事な会員増強。もう今年度すでに相当増強いただいておりますが、私は、自分たちの奉仕活動、これをもっと活発に有効なものにするための問題、課題だ。そう思っております。会員増強委員会だけでなく、今どういふメンバーをどういふ風に誘おうかということをおもなで考えて、会長幹事さん以下一緒になって仲間を増やしていただきたい。課題が3%ですから僅かに人数が増えればガバナー賞も獲得でございます。

それからもう一つ。米山記念奨学事業。これにつきましても日本独特、日本だけの制度ですが、平和友好の実現、日本の理解者を増やすために、皆様方の今まで以上のご協力をお願いしております。

ロータリーの寄付について、私は以前から自分たちの組織に寄付というのはおかしいと思っておりました。これは3年先に地区補助金やグローバル補助金として戻ってくる、私共の活動資金への拠出、積立金じゃないですか。今はそういう風になっていますよ。ということでお願いをしております。言い換えますと、寄付、これはドネーションといいますが、ドネーションではなくて、貢献コントリビューション、先ほどの150ドルのシャツもそういうことであります。そういうふうにご協力をお願いしております。よろしくごお願い申し上げます。



最後に My Rotary 登録、こちらにつきましても、両クラブともしっかり取り組んで頂いております。毎日みて頂く必要はありませんが、時々見て、私たちロータリーがどんなことをやってるのか、それからご自分の、先ほどの貢献額の累計も My Rotary から見ることが出来るんです。結構面白い記事があると思います。

今年度も後9か月。私も皆さんと一緒にロータリー生活、奉仕活動を楽しんで行きたいと思っておりますが、来年6月、今年度の最後になりますが、カナダのトロントで国際大会がございます。ガバナーナイトを6月24日にさせていただきます。

6月のカナダは大変観光見どころも良い国ですが、気候的にも最高だそうです。ぜひ今年度の思い出と一緒に出かけ頂き、トロントでもお目にかかりたいと思っております。

最後になりましたけれども両クラブの益々のご発展とそして皆様方のご健勝をお祈り申し上げまして、終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



閉会挨拶

名古屋みなとロータリークラブ 会長 寺本善雄



神野ガバナー、白くまの話から始まりまして、本年度のガバナーのお考えを大変分かり易くご説明頂き、誠にありがとうございました。

お願いという名の業務命令の会長挨拶を、今日私はやらなくてもすみませんでした。田島会長はきっと寿命が1年縮んだのではないかと思います。私はほっとしてお話を聞いておりました。

イアン ライズリーRI 会長の今年度のテーマを分かり易くご説明頂いて、私たちも今から、今年度の事業が両クラブ共佳境に入っていくと思っております。歴史は大事でございますが、歴史に拘るだけではなく、やはり時代の変化に合わせた行動が大切だなあということ、心に、肝に銘じまして、これからの活動を頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

今日のこの例会を設営して頂きました、名古屋丸の内ロータリークラブの皆様にも心より御礼申し上げます、公式訪問へのお礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

ガバナー・会長・幹事 懇談会

例会に先立ち、11時半より懇談会を開催しました。



例会のご案内

◎10月5日(木) 第1053回例会 「米山月間卓話」

米山奨学生 ホアン ティトウイさん

◎10月12日 休会

◎10月19日(木) 第1054回例会 例会変更「秋の家族会」

歌舞伎鑑賞 於:市民会館 15:30~